MYSTERYDOKUSHOANNAIMYSTERYDOKUSHOANNAIMYS

ミステリ読書案内

２０２２．６．４　発行元
第 362 号　伊藤　剛
https://mystery-dokuan.com

MYSTERYDOKUSHOANNAIMYSTERYDOKUSHOANNAIMYS

深谷忠記の代表作

綾辻行人による「新本格」の幕開けの少し前の時期、私が注目した作家の一人が深谷忠記だった。今では、取り上げられる機会も少なくなり、忘れ去られつつあるような感もある。代表作を取り上げてみよう。

1985年頃のミステリ界

深谷忠記のノベルスは書下ろしであるにも関わらず巻末には「解説」がついている。中島河太郎や郷原宏などが文を書いてるが、そこで強調されているのは「深谷忠記は本格派のホープ」だということ。当時の日本のミステリ界は、「推理小説」と名乗りながらも社会派的内容だったり、通俗・風俗的内容だったりの作品が多かったことを表している。そんな中にあって、深谷ミステリは謎を重視し、トリックを大切にしていると訴える。

島田荘司はスタートしていたが、「新本格」はまだ登場していなかった。そういった意味で「本格ミステリ」を求める読者は多かったのだろうと思っている。

今から振り返ってみると、深谷ミステリは「本格ミステリ」の形式にぴったり当てはまる作品でありながら、プラスアルファの新鮮味には欠けていたのだと思う。謎の強烈さも、人物のキャラクター性も、ストーリー展開の華々しさも「中程度」のレベルだったのだということ。でも忘れ去られるのは惜しい。作者の真面目な取り組みを後世に伝えておくのも必要なことではないか。同時代を歩んできた者として…。

NO.3『平城京殺人事件』

１９９８年中央公論社。最初の題名は『迷界流転』。文庫化した時に現在の題になった。『「長屋王の変」異聞』の副題がついている。歴史ミステリには二種類あり、現在の時点から過去の出来事を推理するパターンと、過去の時代そのものを舞台にして描くパターンがある。本書は後者の形式を取っており、深谷作品の中では異色作になっている。

奈良時代、天武天皇の少し後、左大臣・長屋王が藤原氏との勢力争いの中で讒悔によって自害された事件がテーマになっている。長屋王そのものが登場するのではなく、事件に関わった人たちの視点で分析が行われ、事件の裏に隠された真相を明らかにする流れになっている。力作である。

NO.1『阿蘇・雲仙逆転の殺人』

１９８６年カッパノベルス。長編７作目に当たる。前作の『信州・奥多摩殺人ライン』(エイコーノベルス)が探偵・黒江壮・笹谷美緒コンビの第一作になり、本書は二冊目。帯には「最新刊・書下ろし」「大トリックのアリバイ崩し」と謳ってある。

事件の発端は、愛知県の渥美半島の先端・伊良湖岬の海岸で切断された女性の手首が発見されるところから始まる。当時のノベルスの王道ともいえるトラベルミステリの要素を取り入れているとも言える。やがて、静岡県御前崎で両手首・両足を切り落とされた死体が見つかり捜査が本格化していく。被害者は博多の資産家・伏見雪江と判明し、調べていくと使途不明金として三千万円があることがわかってくる。九州の阿蘇に旅行に出かけていた壮と美緒のところに美緒の父親がお金を横領した容疑で警察に連れていかれたとの連絡が入る。急遽東京に戻ることになった二人は否応なく事件に巻き込まれていく形になる。資産家の消えたお金に関わっていたのは予備校・英研ゼミナールの副理事長・榎本幹彦らしいことがわかってくる。ところがその榎本には完璧なアリバイがあったのだ。博多・長崎…阿蘇・雲仙…長距離を結ぶ仕掛けはどこにあるのか。まともに考えるととても不可能のことのように思えるのだが…。発想の転換が必要。そして、壮は「考える人」に。

No.2『0．096逆転の殺人』

１９８６年カッパノベルス。長編５作目に当たる。上記の『阿蘇・雲仙』と同じ年の出版なのだが、壮・美緒コンビ誕生以前の作品になる。警視庁捜査一課の勝部長刑事と真木田警部が探偵役として登場する。ネットで古書価格を調べてみると、光文社文庫版が一万円、日文文庫版に三万円とかの値がついていてビックリ。私の手元にあるカッパノベルス初版なら……？(在庫ありませんの表示)　この価格が適正かどうかは疑問だが、希少価値だけは間違いなくあるようだ。

江戸川で毛布に包まれた若い男性の死体が見つかるところから始まる。そのニュースを聞いた久保寺早苗という女性が兄・喬ではないかと警察に申し出、確認された。被害者は大学院生であり、毒殺されており、死体の一部が切り取られていた。切断された一部は、喬が客として通っていたバーのママ・太田美那子の元に郵送されていたことが判明。捜査がなかなか進展しないうちに、３ヶ月後、喬の住んでいたアパートの同じ部屋で郷田という男がガス中毒で死亡した。密室トリックとアリバイ崩しの二つの問題が大きな壁になる。